

# 教育委員会定例会会議録

## 1 日時

令和8年4月21日（火）

開会 9時30分

閉会 9時57分

## 2 場所

教育委員室

## 3 出席者及び欠席委員の氏名

出席	長崎禎和教育長、大森達也委員、富樫健二委員、安田悦子委員
欠席	横山史子委員

## 4 事務局職員

副教育長 大屋慎一	
次長（教職員担当）坂井哲	
次長（学校教育担当）尾上修一	
次長（育成支援・社会教育担当）荒川健	
次長（研修担当）小濱偉	
教育総務課	課長 佐川久美子、班長兼企画員 立木雄真
高校教育課	課長 水谷匡利、係長（充指導主事） 脇本慎太郎、 係長（充指導主事） 渡部浩史
特別支援教育課	課長 佐藤葉子、係長（充指導主事） 佐々木優
小中学校教育課	課長 藤代登臣、主任 渡辺祥啓

## 5 議案件名及び採択の結果

	件名	審議結果
議案第1号	三重県地方産業教育審議会委員の任免について	原案可決
議案第2号	令和8年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について	原案可決

## 6 報告題件名

	件名
報告1	令和8年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学

	校入学者選考の概要について
--	---------------

## 7 審議の概要

### ・開会宣言

長崎禎和教育長が開会を宣告する。

### ・会議成立の確認

5名中4名の出席により会議が成立したことを確認する。

### ・前回審議事項（3月24日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

### ・議事録署名者の指名

大森委員を指名し、指名を了承する。

### ・会議の公開・非公開の別

長崎教育長が各委員に諮り、議案第1号及び議案第2号は人事に関する案件のため、非公開にて審議を行うこととした。

<b>・報告事項</b>	
<b>報告 1</b>	令和8年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について（公開）
<b>審議の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校教育課長が令和8年度三重県立高等学校等入学者選抜の概要について、特別支援教育課長が令和8年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要について報告。</li> <li>・ 教育長が各委員に諮り、了承された。</li> </ul>
<b>各委員からの主な質疑</b>	<p>（大森委員）</p> <p>飯南高校もこの連携型中高一貫教育を始めて25年以上経っており、最初は4クラスあって、現在は2クラスに減り、学校も3校が2校に減っていると思う。現在、連携型の中学校の該当生徒数に対する志願者の割合がどのくらい落ちてきているのか。</p> <p>（高校教育課）</p> <p>中高一貫で志願した生徒が16名、31%となっている。</p> <p>（大森委員）</p> <p>それは、例年に比べるとどのようになっているか。</p>

(高校教育課長)

ここ2、3年は30パーセント前後で推移している。令和5年より遡ると、30パーセント台後半の時もあるが、もっと遡ると30パーセント前後を推移している。

(大森委員)

愛知県では2、3、4番手ぐらいの進学校がクラス単位で多く定員割れしている。三重の場合、再募集をかけた学校の中で、クラス単位で定員割れしているところはないのか。

(副教育長)

1校のみである。

(大森委員)

教員配置も変わってくるのか。

(副教育長)

変わる。当該年度は、いきなりの話になるため、難しいが、ある程度でところで減らしていくという構図となる。おっしゃるように、入学段階や年度途中になる場合もあり、その際には対象となる。しかし、急激に減らすと学校にも影響があるため、様々な手立てで行っていく必要がある。

(大森委員)

子どもの数が減り、教員数が減っても教育レベルが下がらないようなイメージか。

(副教育長)

教員数はその開講講座数と連動するところがあるため、我々も学校や子どもが困らないようには考えている。

(富樫委員)

県立高校の魅力化の件について、例えばネクストハイスクール構想や大学でも、高等教育コンソーシアムみえで、県下の高等教育間連携しながら、またその高大連携を推進させてみるみたいな話もあるが、ネクストハイスクール構想と、地域構想推進プラットフォームとの連携について、高校の魅力化を含めて、例えば探究活動の支援もできるのではないかと思うが、どのような形で進んでいるのか。

(副教育長)

ネクストハイスクール構想とは切り離して説明する必要がある。ネクストハイスクール構想はあくまで、高校改革の先導校として行い、この後交付金があり、つなげていくという構図となる。例えば、探究学習への支援はまだ県単独で事業を行っているため、そういうところで手を入れながら魅力化をはかるふうに考えている。代表的なものは、普通科の探究学習、

	<p>あるいは地元を知る、これは将来的にはUターンを見越した地域の企業紹介等も含めて昨年から行っており、今後もそれを中心に行っていく。また、私学にはないものとして、例えば、ベトナム研修などの県立高校を対象に大きく募集する事業を広報しながら、県立学校全体としての魅力化に取り組んでいくこととしている。</p> <p>(富樫委員)</p> <p>国としては、高大連携をかなり強くしている感じもあるのか。</p> <p>(副教育長)</p> <p>そうである。大学ともしっかり連携させていただきたいと思っている。</p>
--	---

<b>・審議事項</b>	
<b>議案第1号</b>	<b>三重県地方産業教育審議会委員の任免について（非公開）</b>
・非公開により審議されたため、三重県教育委員会会議規則第十三条二項の規定により会議録は別途作成	

<b>・審議事項</b>	
<b>議案第2号</b>	<b>令和8年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について（非公開）</b>
・非公開により審議されたため、三重県教育委員会会議規則第十三条二項の規定により会議録は別途作成	

**・閉会宣言**